

レディ・ジェーン／愛と運命のふたり（1985）

LADY JANE

メディア 映画
ジャンル ドラマ ロマンس 歴史劇
製作国 アメリカ
時間 141分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】
王位継承ををめぐる策略の中で、運命に翻弄されわずか“9日間の女王”となった女性レディ・ジェーン・グレイとその夫の短くも波乱に満ちた生涯を描いた歴史ドラマ。監督は舞台演出家として活躍するトレヴァー・ナン。ヘレナ・ボナム＝カーターの映画デビュー作。
16世紀中頃、チューダー王朝の英国。この国は先王ヘンリー八世の時代にカソリック教会と決別、英国国教会を主とする国となっていた。ヘンリー八世の跡を継いだエドワード六世の下で摂政として時の実権を握るのはジョン・ダドリー卿。彼は、病弱で先のないエドワード六世の後も自らの地位を盤石なものとするため策略を練る。そして、ヘンリー八世の妹の孫娘、15歳のジェーン・グレイに白羽の矢を立てると、自分の放蕩息子ギルフォードと結婚させ無理やり彼女の王位継承を仕組むのだったが…。

【クレジット】			
監督	トレヴァー・ナン	Trevor Nunn	
製作	ピーター・スネル	Peter Snell	
原作	クリス・ブライアント	Chris Bryant	
脚本	クリス・ブライアント	Chris Bryant	
	デヴィッド・エドガー	David Edgar	
撮影	ダグラス・スローカム	Douglas Slocombe	
音楽	スティーヴン・オリヴァー	Stephen Oliver	
出演	ヘレナ・ボナム＝カーター	Helena Bonham-Carter	レディ・ジェーン・グレイ
	ケイリー・エルウィズ	Cary Elwes	ギルフォード・ダドリー
	ジョン・ウッド	John Wood	ジョン・ダドリー
	ジル・ベネット	Jill Bennett	
	ジョス・アックランド	Joss Ackland	
	パトリック・スチュワート	Patrick Stewart	
	マイケル・ホーダーン	Michael Horder	
	ジェーン・ラポテア	Jane Lapotaire	
	サラ・ケステルマン	Sara Kestelman	